



STANDARD

2026年5月13日

各 位

会社名 第一建設工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 内田 海基夫
(コード : 1799 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役 常務執行役員
経営本部長 早川 晴彦
電話番号 025-241-8111

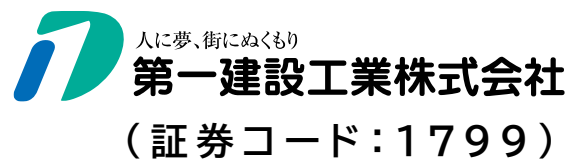
資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2026年5月13日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて、現状を分析・評価し、改善に向けた今後の取り組み方針についてアップデートいたしましたので、お知らせいたします。

なお、詳細につきましては、添付資料の「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」をご参照ください。

以上

資本コストや株価を意識した経営の 実現に向けた対応について



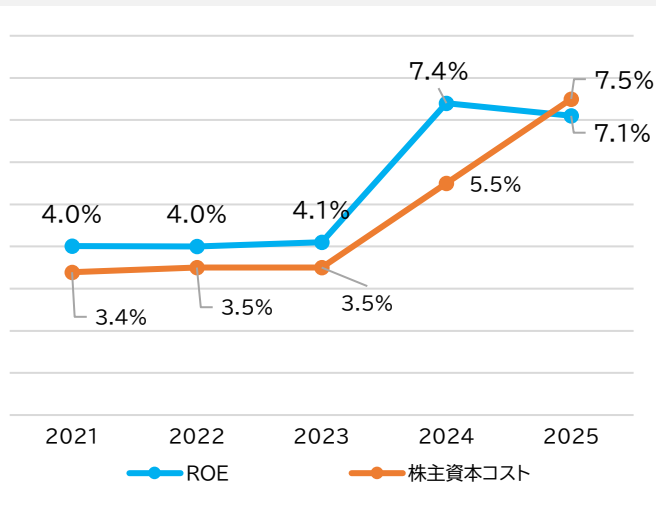
現状認識



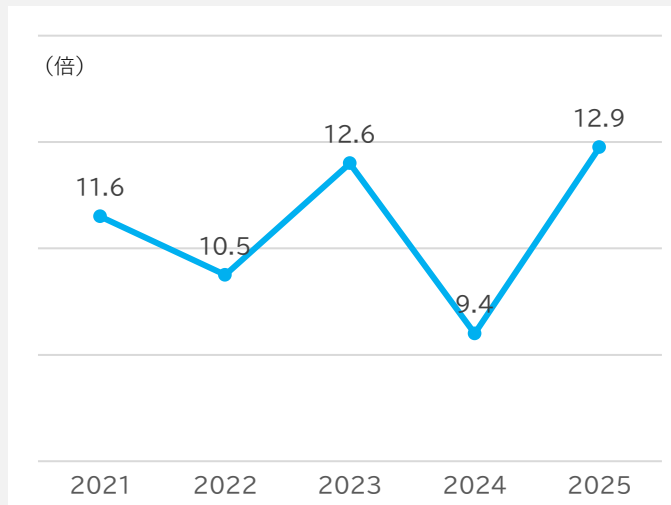
現状分析・評価

- ROEは、自己資本の収益力向上により7%台まで改善したものの、金利上昇の影響により上昇した株主資本コスト[※] 7.5%を下回る。
- PBRは、PERの上昇を背景に0.92倍まで回復したものの、1.0倍を下回る。

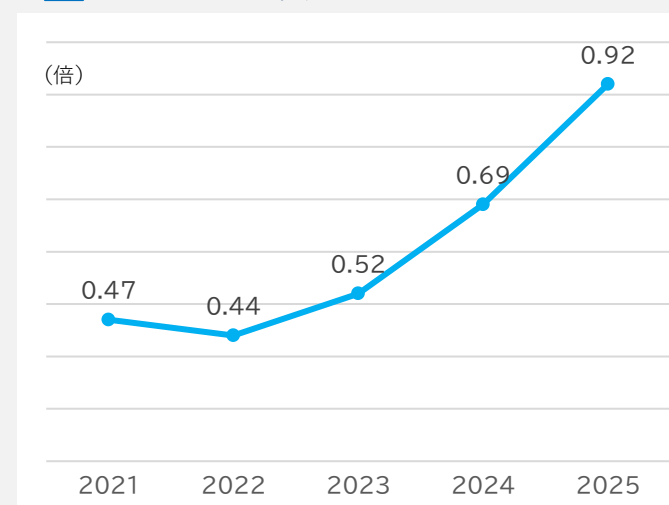
(株主資本コストとROE)



PER(株価収益率)



PBR(株価純資産倍率)



※株主資本コストの算出【CAPM(資本資産評価モデル)】

$$\text{株主資本コスト} = \text{リスクフリーレート} + \beta(\text{感応度}) \times \text{エクイティリスクプレミアム}$$
$$7.5\% = 2.324\% + 0.795 \times 6.45\%$$

リスクフリーレート：2026.03.31 新発10年国際複利終値

β (感応度)：当社株価とTOPIXの過去データ(月次)を用いて算出し、次式で修正(修正 $\beta = 2/3 \times \beta + 1 \times 1/3$)

※統計誤差および β 値の回帰性を考慮して $\beta = 1.0$ に近づけるため修正(修正前 $\beta = 0.692$)

エクイティリスクプレミアム：1972年～2025年の期間数値(6.45%)を利用

指標

ROE(自己資本利益率) 7.1%(前期比▲0.3%)

株主資本コスト 7.5%(前期比+2.0%)

PER(株価収益率) 12.9倍(前期比+3.5倍)

PBR(株価純資産倍率) 0.92倍(前期比+0.23倍)

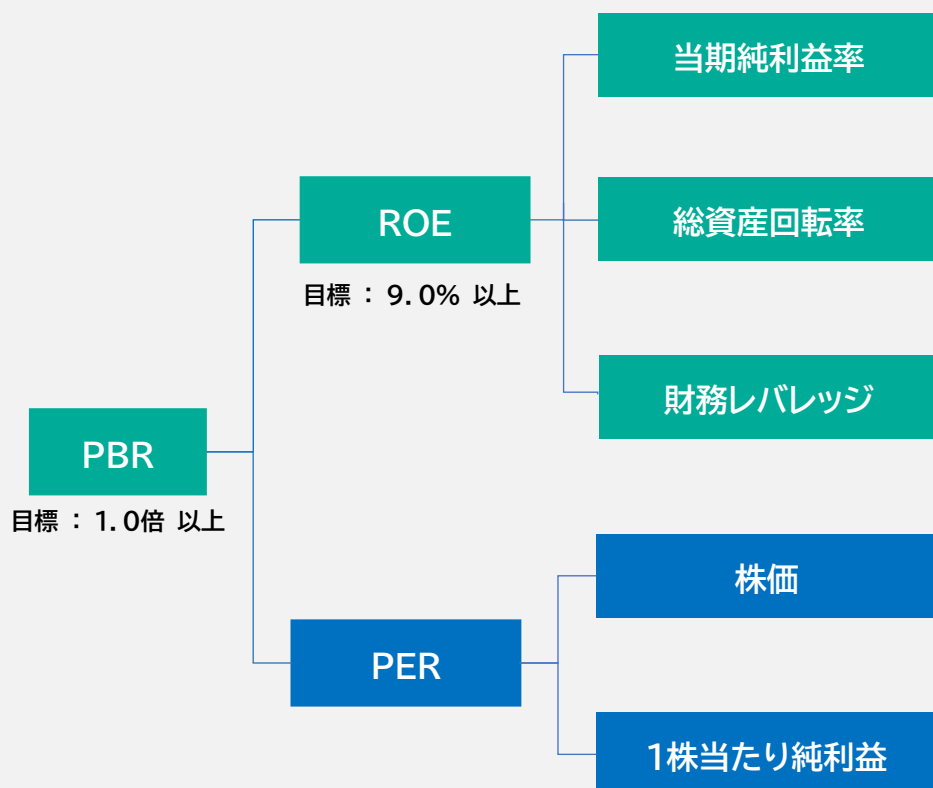
2026年3月末株価 3,795円(前期末比+1,180円)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた取り組み



PBR向上に向けた主な取り組み

- PBRは、分解すると「 $PBR = ROE(\text{自己資本利益率}) \times PER(\text{株価収益率})$ 」となるため、収益率の向上と共に、成長期待度を高めることでROEとPERの向上を図る。



主な取り組み

- 人的資本投資（技術力・品質管理能力他の向上）
- コスト削減とコスト管理の徹底
- 価格高騰に対応した適切な価格転嫁
- 事業の拡大(M&A含む)
- 事業領域の拡大(D-flip、Sto工法)
- AI活用による業務効率化・安全管理
- 首都圏民間鉄道からの受注獲得
- 資本構成の最適化
- 非効率資産の解消
- 設備投資の効率化
- 情報開示（決算・会社説明資料、ESG情報他）
- IR活動の充実（個別面談、IR説明会等を通じた対話の充実）

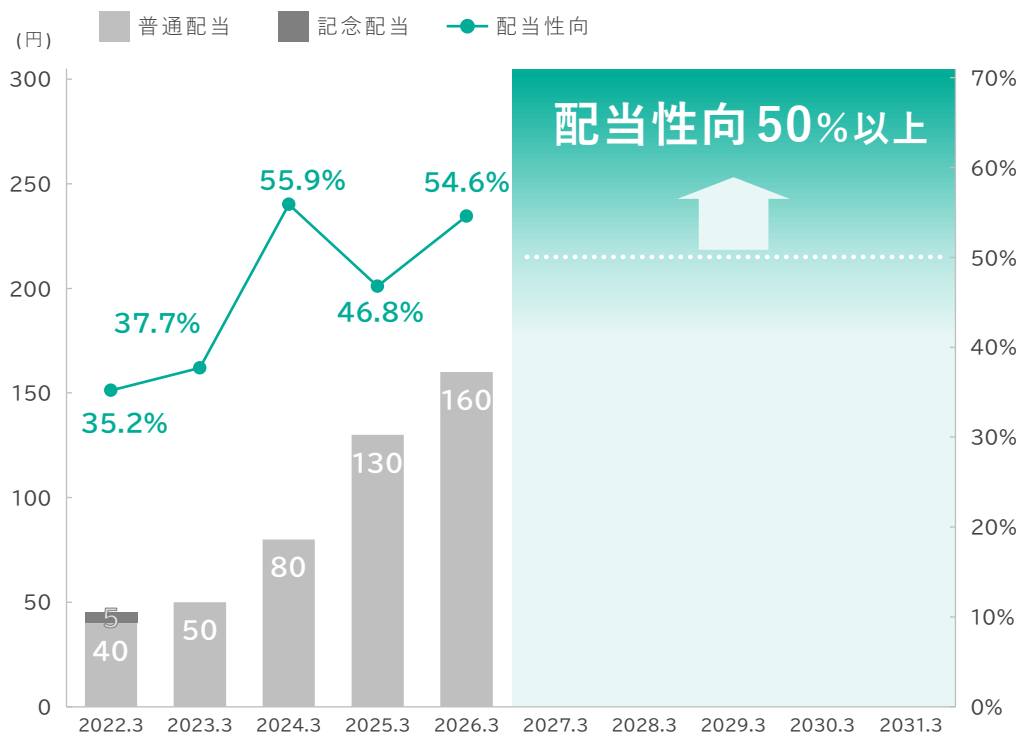
資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた取り組み



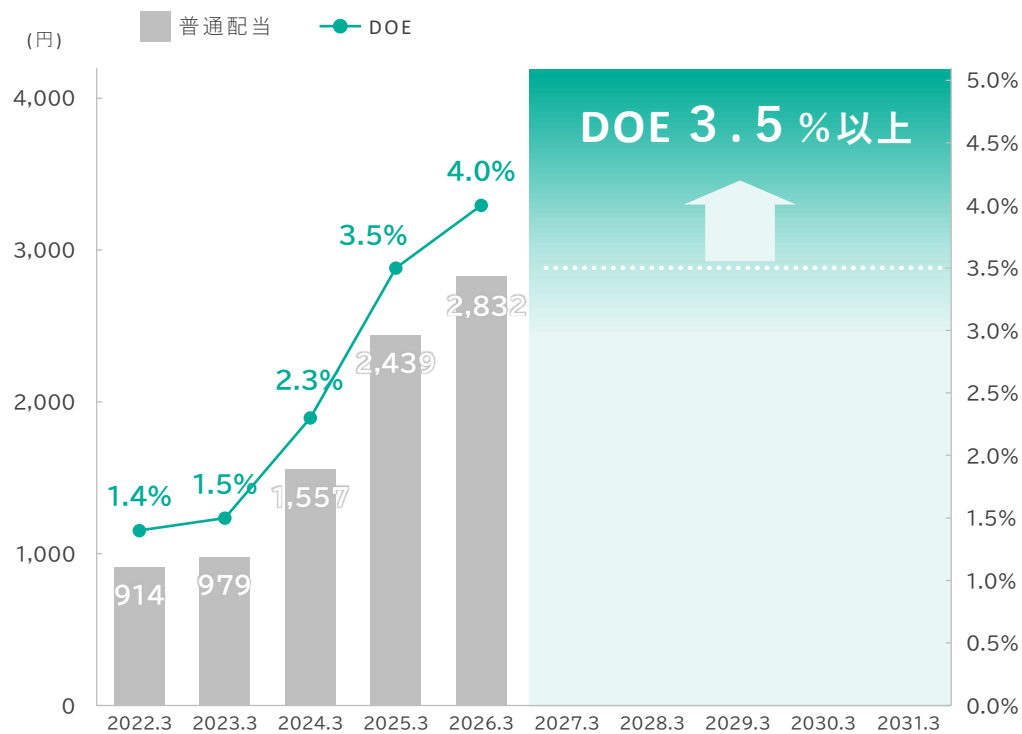
株主還元の充実

株主の皆様への利益還元と企業価値の最大化を重視しております。その取り組みの一環として、累進的な配当[※]による株主還元の充実を継続的に行い、各年度において配当性向50%以上に加え、DOE3.5%以上を目指します。

1株当たりの配当金および配当性向



配当総額およびDOE



※累進的な配当...配当金の水準を減らさずに維持または増配させる配当方針